

①合掌苑フィロソフィー手帳での学び合い

介護の仕事の成果は、数字として表れるようなものではなく、非常に主観的で、一人ひとりの判断基準が異なります。だからこそ、成果の定義付けが重要です。

合掌苑の場合、「自分たちが入りたい施設を作る」、「お客様を最後までお世話する」「お客様に幸せになっていただく」を基本として、「人は尊厳を持ち、権利として生きる」という基本理念を作っています。この理念を記載した「フィロソフィー手帳」をスタッフ全員に配布し、理念を共通の土台にできるように、毎日、全部署で文言の意味を学び合っています。

②“感謝の言葉”を配布

週 2 回、お客様やご家族からいただいた“感謝の言葉”を「スタッフストーリー」として2話ずつプリントし、スタッフに配布しています。1年分をまとめた冊子「心の栄養」も配布し、これまでに10冊刊行しています。

介護現場には、介護スタッフだけでなく、看護師や管理栄養士など、受けてきた教育も異なるさまざまな職種のスタッフがいます。理念や想いを共有することで、お互いの立場の違いも理解できるようになり、同じ目的を達成するためのチームとして邁進します。